

●同志社大学サッカーボランティアとして 23 人(男子部員 10 名、女子部員 13 名)が来園

木津川希少種植生の保全維持の集草作業に 12 月 6 日に 16 袋、7 日には 14 袋を 2 日間で巨大袋合計 30 袋に集めさせていただきました。両日とも興戸駅などに集合して予定の現場では 9 時 30 分に作業を開始、お昼には天端で冷たい冬風をものともせずに弁当を食べていただき、デザートにミカンやバナナをほおばって、ほんの少しの休憩で次の現場に移動を行いました。日頃鍛えている体力に自信があつてか斜面をものともせずに手際よくかき集めていただきました。里山の会のスタッフなら 2 日間はかかるだろうと見込まれるのですが見ている間に袋に詰め込んで、綺麗に清掃が出来上りました。スタッフの皆さんは改めて若さの力に驚きました。6 日には木津川市の加茂地域のオオバクサフジの生育地と山城地域のマキエハギの生育地をやり挙げていただきました。7 日には木津川市の生育地で最も大切に保存しているレンリソウ地域と木津川で 3 株しか生育していないフナバラソウの生育地を午前中に片づけて、午後には八幡市の現場に移動しての



作業になりました。

移動には除草作業に
尽力いただいた太田

さんを始め奥さんまでが自家用車を出して移動にご協力の加勢をいただきました。2 日間で集めた袋は大量の刈草の大部分を受け取ると連絡をいただいた農家さんの田圃や里山農園への運び込みも完了しました。

●越冬昆虫観察会(12 月 14 日)の開催の諸準備を金田さんが始めてくださっています。

打田薪炭組合のお手伝いをさせてもらっている時、組合員さんからこの地域にオオムラサキが飛んでいるらしいとのお話を聞きして、落葉の中で越冬しているから幼虫を見つけられるので作業を行つてはとの桜谷先生の助言で開始いたしました。どこに食草のエノキが生育しているのか分かりませんので先生に見つけてもらって炭窯付近のエノキ 10 本を訪ね 1 時間も 2 時間もめぐり続けました。数年後に里山農園の開拓が進みエノキ林 20 本ほどの群生が発見されたので山野を駆

けずり回る苦労から解放され、安定的にオオムラサキやゴマダチョウの幼虫探しを行えるようになったのです。しかし里山農園で安心して作業が出来るように斜面の大木を木炭生産の原木に利用する目的で伐採を進めると同時に台風のために樹液が出ていた大木が倒されました。そしてナラ枯れも発生して、森の環境が変化をしたころからオオムラサキの成虫の飛翔確認がさらに難しくなり始め2年前から幼虫の発見もできなくなりました。そして今年(2025年)の3月13日に中学生たちによって幼虫の発見と、6月29日に成虫の飛翔に出会われており、画期的な成果がありました。

こうした経過から今年(2025年度)のオオムラサキ幼虫を見つけるための観察調査は非常に大切な取り組みとなりました。ぜひ多くの皆さんのご参加をお願いいたします。

このための準備を昆虫部会の金田さんがいち早く準備を始めて頂いています。エノキ林の足元の草刈りとエノキの幹に番号書きなど、そして教育棟の床板の掃除等の清掃を行っていただいています。気がついても手が出ない地道な作業で里山農園の昆虫たちに熱い熱い情熱を注いでもらっています。ありがとうございます。

●12月21日の第6回イタセンパラの復元を目指すシンポジウムに国交省淀川河川事務所から出席の連絡が届きました。

これまで私たちの取組を眺めてこられました。河川事務所も木津川での取組に少し関心をもっていただしたことになったのではないかと推測します。淀川水系で木津川から姿を見なれなくなった折りに絶滅したのではないかと考えています。その後イタセンパラの研究をされてこられた綾史郎先生や小川力也先生そして河合順彦先生、石田裕子先生からいろいろ教えて頂いて竹門康弘先生と竹蛇籠を中心に中聖牛の設置を玉水浜で行ってきました。そして2回の外来魚駆除を目的とした子ども釣り大会を行うなどをしましたが、ワンドの堆積物除去などにまで手が及ばず二枚貝の生息環境づくりには到達できておりません。京都水族館の福富様の力強い助言で随分勇気付けてきました。

今回で第6回目となる復元を目指すシンポにぜひ多くの皆さんのご意見を賜れる機会として開催を準備しています。

12月21日(日)13:00開場で開催いたしますのでご参加をお待ちしています。会場は田辺警察署前の京田辺市社会福祉センター3階ホールです。

当日のプログラムは決定したところから週刊ニュースで発表してゆきますのでよろしくお願ひいたします。

第6回イタセンパラの復元を目指すシンポジウム

昨年まで京都府自然環境保全課の課長をされていた「後藤幸広」さんにお願いをして木津川でのイタセンパラの復元へのがん段階の解説とこれまでの課題について提起をお願いいたします。お話を受けて参加者全員で深め合いこれから道筋を明らかにしていく場としたいと思います。

これまでかかわってこられた皆さん全にご参加を得てお知恵を拝借申し上げます。また里山の会の取組状況についてもご報告をさせていただきます。

これまでの出席案内者

綾史郎 福富雅哉 杉本哲 国島優希 光田重幸 桜谷保之 河合典彦 後藤幸広 山下茂 村田源人 谷田賢二 広瀬寿一 竹田実 長嶋恵子 西田敷斐 森田守三 八百恵 竹門康弘 魚釣りに来た大人たち

12月21日(日)13:00~16:30

21年12月19日 34人 22年12月18日 11人 23年12月16日 16人
24年12月14日 23人 25年12月20日 22人

2025年12月21日(日)開催

10年01月24日 綾先生講演
11年10月08日 小川さんスライド上映
12年5月 里山紹介スライド
12年08月27日 ラクタイ新聞記事
21年1月19日 小川力也氏講演

イタセンパラ復元テーマに

主催 特定非営利活動法人 やましろ里山の会 事務所 京都府京田辺市田辺深田1
fddb257@yahoo.co.jp 電話 0774-64-4183

●12月の取組の予定 何かと忙しい年末ですが里山の会の活動にご参加ください。いずれも参加費無料

12月13日 木津川希少種の刈草の集草作業 9時近鉄興戸駅集合 現場へ移動 学生運搬のお手伝い募集

12月14日 冬の昆虫観察 里山農園の教育棟集合 参加費無料 10時集合 少雨決行

12月14日 木津川希少種の刈草の集草作業 9時近鉄興戸駅集合 現場へ移動 学生運搬のお手伝い募集

12月20日 尾根筋ハイキングコース年末清掃実施 9時30分普賢寺小学校前集合現場へ移動

12月21日 第6回イタセンバラの復元を目指すシンポジウム 13時開場 京田辺市社会福祉センター
国交省淀川河川事務所=淀川の現状と課題報告 里山の会=岐阜県-木曽川の取組報告
里山の会=中学生の調査観察報告 そのほか木曽川での取り組みの報告も準備中です。

12月24日 しめ縄つくり 9時30分里山農園教育棟集合

しめ縄つくり 12月24日

しめ縄は神聖な所を表すものですしめ飾りは降りてこられた神様が迷わ無いように飾りを着けているのではないかでしょうか?いずれにしても餅縄を作り上げます。米の藁は茎が短いので長いモチ米の藁を使います、近ごろは農家でモチを栽培されているところは比較的少なくなっていますが、コンバインで一基の収穫になりますので早くから予約仕手材料を確保することが重要です。参加者の子供たちも大人の方も縄をなうといった経験が少ないので寄りを掛けるという作業が難しいところで苦労をされますが出来るだけの経験で成功することは難しいので本番前に里山農園で縄を作る事前の練習をするといいのではありませんか?こうした地道な経験が技術の伝承になるのではないでしょうか?こんなこともしながら本番のしめ縄つくりを実行します。昨年は体の不自由な皆さんにお越し願って取り組みました。力を合わせて長いモノ、大きいモノ等工夫して創意な飾り名が出来上がり面白いと思います。沢山の創意と工夫が發揮されることを期待しています。時間にせかされて急いで作るのではなくてシンプルでオーソドックなしめ縄と創意工夫したしめ縄を時間を分けて作り上げましょう。みなさんのご参加をお待ちしています。

特定非営利活動法人やましろ里山の会 事務所:京都府京田辺市田辺深田15 fddbw257@yahoo.co.jp 電話 0774-64-4183

「七草摘みと七草粥」お知らせ

2026年1月6日 里山農園付近

新しい年の始まりに、そして里山の会30周年の幕開けとして、恒例の「七草摘みと七草粥」を今年も開催いたします。

この伝統行事は、無一文から始まった私たちの活動の原点であり、

30年間続けてきた大切な取り組みです。

七草摘みでは、冬の里山を歩きながら春の七草を探します。

七草粥は、摘んだ七草を使って、無病息災を願いながらみんなで味わいます。

遊びを分かち合えるひと時に

自然の恵みと仲間とのつながりを

感じながら、楽しく意義ある

新年のスタートを切りましょう

ご家族そろってご参加ください!

参加無料・中込不要

温かい服装でお越しください。

皆様のご参加を心より

お待ちしております!

30周年を迎える里山の会の歩み

竹えんぴつや松かさツリーなどの自然工作

里山農園での栽培活動

ヤマトシショウウオやイタセンバラの保護活動

植物調査の継続と保存庫の構築

会誌『里山の自然』や週刊ニュースは1150号に到達

中高生の参加も増え、次世代へと活動が広がっています

生物多様性センターの活動も着実に前進中

●2026年度は里山の会結成30周年です。

祝賀記念式を2026年11月14日に開催いたします。みなさんご出席ください。

記念講演「東南海地震と私たちの暮らし」を元京都大学准教授 松波孝二様にお願いしています。

3